

平成30年度 看護局教育計画 H30・3.7
 教育目標: 専門職業人としてのキャリア形成に努め、創造性豊かな人材を育成する。

ラダー I

目標: 社会人として行動ができ、患者の安全を維持するための基本的な知識・技術を習得する。

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
4月2日(月) 8:30~17:15	新人研修	新規採用者	病院の組織および看護局について学ぶことができる	1. 所属部署の発表 2. 病院・看護局理念について 3. 病院見学と所属部署へのあいさつ	スキルアップ委員会 【別紙参照】	
6月7日(木) 8:30~17:15	プリセプティ研修 (ステップ I)	卒後3ヶ月	チーム内での自己目標が明確になり、自己の成長に繋げることができる	1. 情報交換と共有 2. 自己の目標と課題を見いだす	AM 新人教育委員会	
12月6日(木) 8:30~12:30	プリセプティ研修 (ステップ II)	卒後8ヶ月	1.組織やチーム内での自分の役割を認識し、メンバーの一員として行動できる 2.自己目標が明確になり、自己の成長に繋げることができる 3.シミュレーションを通して自らの行動を振り返り、根拠に基づいた看護の必要性を理解することができる	3. 人工呼吸器について	PM 特定看護師 臨床工学技士 浅田淳	
H31年3月1日 (金) 13:15~17:15	プリセプティ研修 (ステップ III)	卒後1年	自己の看護を振り返り、二年目の目標が明確になり、成長に繋げることができる	1.組織やチームでの役割を再確認 2.責任ある看護実践について 3.クリニカルラダー I 達成に向けたグループワーク	新人教育委員会	
10/2~H31年1/31	日常看護提供場面で理解する看護の倫理綱領と看護業務基準	全員	【意志決定支援を支える力】	1.看護者の倫理綱領とは 2.場面を通じた看護者の倫理綱領と看護業務基準の理解 3.確認テスト	日本看護協会 配信研修	

ラダー II

目標: 自己の役割と責任を認識し、知識、技術をより深め、看護実践の場に活かせる。

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
7月5日(木) 8:30~12:30	フォローアップ リーダー研修	卒後4年	1. 自分の役割を理解し、リーダーシップを発揮することができる 2. 患者心理を理解したクレーム対応を学び実践に活かすことができる	1.リーダーとしての姿勢を学ぶためのスキルを現場体験を元学ぶ 2.クレーム対応のためのコミュニケーションスキル	係長より選任	
7月14日(土) 8:30~17:15	チームメンバー研修	卒後2・3年 実地指導者	1.フィジカルアセスメントの意義を理解しEBNIに基づいた看護の提供ができる 2.実地指導者としてモデルとなる行動をとることができる	フィジカルアセスメントについて学ぶ	名古屋大学大学院 医学系研究科 山内豊明	
9月12日(水) 8:30~17:15	リーダー研修	卒後3年	チームリーダーとしての役割を理解し主体的なメンバーシップを発揮することができる	チームリーダーとしての役割を理解しコミュニケーション技術を学び看護実践に役立てる	AM 熊本千津子 渡邊智美 PM ICLS委員	
12月1日(土) 8:30~12:30	皮膚排泄ケア	卒後 2年~4年 (選択)	がんの診断期から終末期にわたり皮膚や排泄に関わるケアを学び実践に活かすことができる	1.がん患者の皮膚・排泄ケア 2.がんの診断期から終末期にわたる皮膚や排泄について	皮膚排泄ケア 認定看護師 堀井 さゆり	
1月16日(水) 8:30~12:30	がん化学療法看護	卒後 2年~4年 (選択)	がん化学療法看護について知識を深めることができる	1.がんの特性とがん化学療法の基礎知識を習得する 2.安全な投与管理の知識を習得する 3.がん化学療法の副作用を理解しセルフケア支援につなげる	がん化学療法看護認定看護師 米倉恵子	
①4月21日(土) ②6月9日(土) 統計学 ③7月7日(土) ④10月6日(土) ⑤12月15日(土) 【講師の振り分けは別紙参照】	看護研究	卒後4年 卒後研究 担当者	看護研究の取り組み方法と実際を知り看護の創造性を養うことができる	・文献検索と統計学的基礎知識 ・データ収集と分析方法 ・論文の書き方と発表方法	関西国際大学 中木里実 平岡玲子 畿央大学 福森 貢 【アドバイザー】 岩見美奈 高橋真美 尾嶋弘美	
10/2~H31年1/31	ケアの受けてや周囲の人々の意思決定プロセスの理解	全員	【意志決定支援を支える力】	1.意思決定プロセス 2.インフォームドコンセント 3.意思決定支援に関わる情報と情報収集 4.倫理的問題と課題 5.確認テスト	日本看護協会 配信研修	

ラダー III

目標: 専門領域における看護実践の役割モデルとなり、組織的な役割遂行を実践できる。

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
11月14日(水) 8:30~12:30	集中ケア	卒後5年以上 (選択)	重症患者の生体反応の理解を深め看護ケアに活かすことができる	1. 重症患者の生体反応 2. フィジカルイグザミネーションを理解しアセスメントに繋げる	集中ケア認定看護師 遊免大輔	
9月8日(土) 8:30~15:00	エンゼルケア	卒後5年以上 介護福祉士 (選択)	死後ケアの技術の理解を深めるために、標準予防策の考え方、エビデンスに基づいた理論を学び実践に活かすことができる	1. 遺族ケアについて 2. エンゼルケアについて 3. エンゼルメイクについて 4. 遺体分野の感染予防策について	(有)エル・プランナー 橋本友希	
11月10日(土) 8:30~12:30	摂食嚥下ケア	卒後5年以上 介護福祉士 (選択)	摂食嚥下機能の評価ができ、誤嚥性肺炎や窒息、栄養低下、脱水を予防し看護実践に活かすことができる	1.摂食嚥下障害に関わる解剖 2.嚥下機能評価 3.段階的嚥下訓練 4.嚥下性肺炎予防	南奈良総合医療センター 摂食嚥下看護認定看護師 佐谷直美	
9月29日(土) 8:30~12:30	看護師が行う リハビリテーション	卒後5年以上 介護福祉士 (選択) 実地指導者	疾患による日常生活機能低下からくる呼吸器合併症の予防や廃用症候群からの離脱の具体的方法を学び実践に活かし早期離床を行い社会復帰につなげることができる	症例に基づき離床についての関わりやアプローチについて	日本離床研究会ファシリテーター 南奈良総合医療センター 大島成司	
10/2~H31年1/31	急変の予測と救命救急場面の対応	全員 (介護福祉士除く)	【ケアする力】	1.呼吸、循環、意識の評価 2.急変の予測 3.救命救急場面におけるリーダーシップ 4.確認テスト	日本看護協会 配信研修	

ラダー IV

目標: 優秀な看護実践に加えて、人材育成能力を高める。

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
5月19日(土) 8:30~17:15	アンガーマネジメント	師長 副師長	管理者としてうまく怒りの感情とつきあいが、適切な問題解決やコミュニケーションに結びつけていくことができる	1.アンガーマネジメントの基本テクニックを学ぶ 2.アンガーマネジメント診断を受け自己を客観的に知る	(株)ナースハート 井上泰世	
6月30日(土) 8:30~17:15	承認力を高めるモチベーション研修	係長 主査 (経験年数5年以上)	中間管理者として求められる対応能力を学び、実践能力を高め組織内外での運営を円滑に行うことができる	1.モチベーション・マネジメントの考え方や理論 2.承認力と委任のスキル 3.テキストを使用しての振り返り	(株)フェアアンドイノベーション 永瀬隆之	

ナーシングエイド研修

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
6月12日(火) 6月19日(火) 13:15~17:15	ナーシングエイド研修	ナーシングエイド 介護福祉士	看護師の補助業務としてのナーシングエイドの役割を理解し、業務を円滑安全に行なうことができる	業務サービスの提供に必要な知識と技術を習得する	ICLS委員会 接遇委員会	嶋村

看護必要度研修

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
10月~12月	看護必要度研修	全体	看護必要度の理解を深める	1. 看護必要度について 2. 看護必要度の実施研修	看護必要度委員会	看護必要度委員会

看護職復職支援研修

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
10月13日(土)	復職支援者相談会 【復職予定者と支援者集い】	全体	現在の医療現場を理解しWLB支援を活用することで復職の準備ができる	1.意見交換・職場復帰相談 2.前年度復職支援者による講話	看護局	看護局

実地指導者研修

月日	研修名	対象	目標	内容	講師	担当
2月22日(金) 8:30~12:30	看護師が行う リハビリテーション	新人看護職員 実地指導者	看護師が行うリハビリテーション研修を受講して自身の取り組みを振り返る	自身の取り組みをプレゼンテーションを通して学びを深める	看護局 コンテナー: 離床アドバイザー伊丹幹人 田中早苗副看護局長 藤裏里美 北飯ふみ	看護局

CLOCM i Pレベル III承認申請のための必須研修

月日	研修名	対象	内容	講師	担当
7/2~H31年1/31	1.医療安全と助産記録 2.子宮収縮剤使用時の助産ケアのポイント2017 3.産科領域で役立つ!呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント	助産師	1.助産記録の具体的な考え方/安全な医療提供のための記録のあり方/助産記録の具体例/確認テスト 2.子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進注意点/子宮収縮薬使用法と助産ケアのポイント/子宮収縮薬使用時のインシデント・アクシデント/確認テスト 3.妊娠に伴う呼吸器・循環器系における母体の生理的変化/妊娠・分娩・産褥期に起こりやすい異常/異常の早期発見のポイントと対応/確認テスト	日本看護協会 配信研修	